

富川小学校 河川防災授業 実施報告

沙流川の自然や歴史、過去に起こった災害について学び、自分たちの住む地域の災害リスクを理解するとともに、災害から身を守るために必要な準備や自分たちができる行動を考えてもらうため、防災講話及び、ハザードマップ等を使った学習やマイ・タイムラインの作成による防災授業を行いました。

実施概要

実施場所	日高町立富川小学校（日高町富川東1丁目1-1）
実施日	令和8年9月1日（火）
実施時間	8：30～10：05（5分休憩含む） 1～2時間目（45分×2コマ）
実施会場	1階 プレイルーム
対象学年	5年生（33名）
内容	防災講話、ハザードマップを使った学習、 川の水位調べ、マイ・タイムラインの作成
支援機関	北海道開発局室蘭開発建設部 環境防災総合政策研究機構



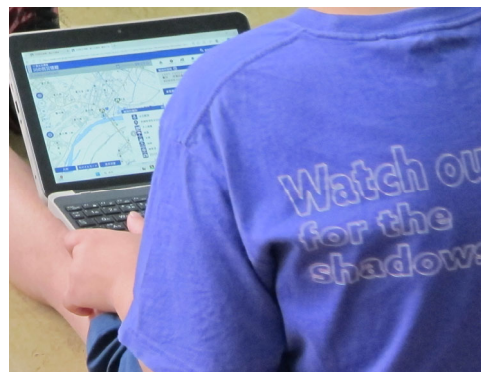
日高町立富川小学校

実施スケジュール

	実施内容
1時間目 (8:30～9:15)	■ 今日のおはなし 今日の防災授業について内容紹介
	■ 防災講話 川の利用状況、過去の災害、流域治水の取り組み等について説明
	■ 地域で起きるかもしれない災害について知ろう ハザードマップを使って、地域にある災害リスクを確認し、沙流川が氾濫する前に避難し終えておくことの大切さについて説明
	■ 防災クイズに挑戦 防災情報や気象情報、非常持出品についてのクイズを出題し、注意点等を交えて解説
	■ 川の水位を調べてみよう タブレットを使って実際に「川の防災情報」にアクセスし、沙流川の現在の水位や雨量、河川カメラを確認
2時間目 (9:20～10:05)	■ マイ・タイムラインを作ってみよう 動画の視聴等でマイ・タイムラインをイメージした後、逃げキッドの資料を使って、グループで話し合いながらマイ・タイムラインの作成を体験

授業の様子（1 時間目）

防災講話では、沙流川の自然やそこに住むアイヌのくらしや歴史、過去の災害、流域治水の取組みについて等、沙流川全体について広く学習を行いました。その後、日高町のハザードマップや川の防災情報を確認し、地域の災害リスクや川の水位の調べ方について学習しました。



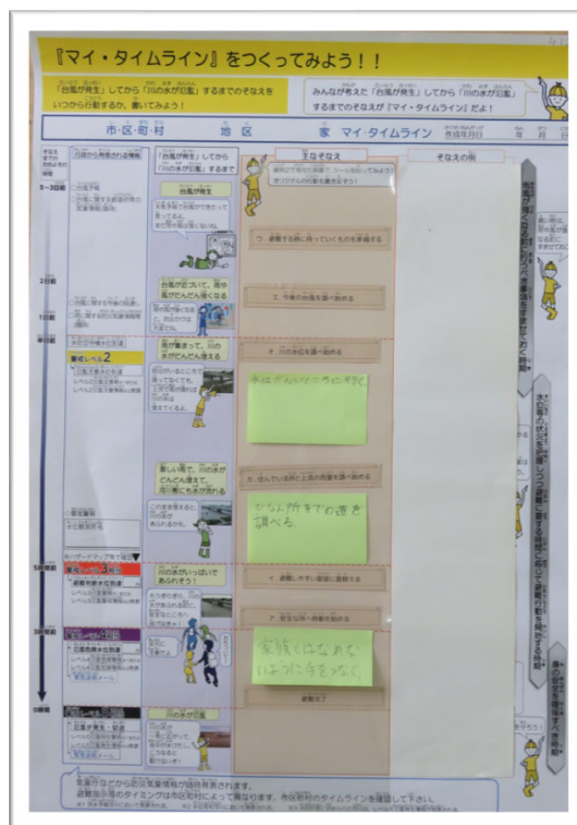
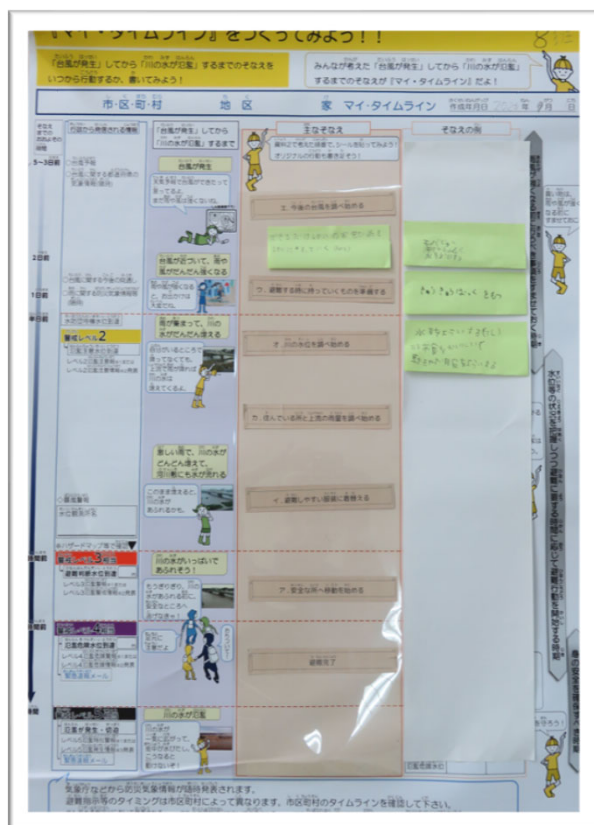
授業の様子（2 時間目）

授業の後半では、逃げキッドの資料を使ってマイ・タイムラインの作成体験を行いました。沙流川が氾濫する前に避難が完了できるように、台風が発生してから川が氾濫するまでの間に行うべき必要な準備についてグループごとに話し合い、マイ・タイムラインを作成しました。



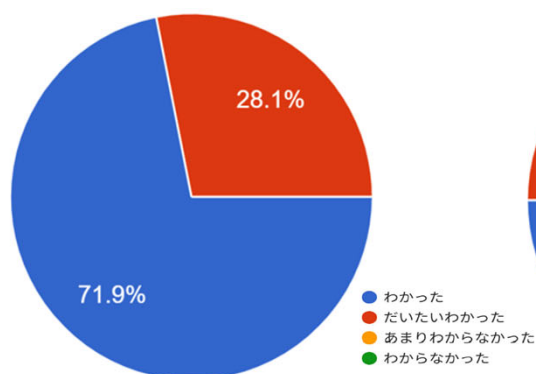
作成したマイ・タイムライン(一例)

最後に、代表して2つのグループから作成したマイ・タイムラインについて、発表を行いました。避難を開始する前にやった方がよいことやその順番など、グループで考えたことをそれぞれ発表してもらいました。

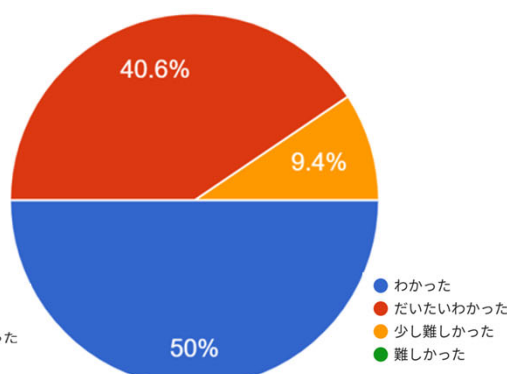


生徒・先生へのアンケート結果より

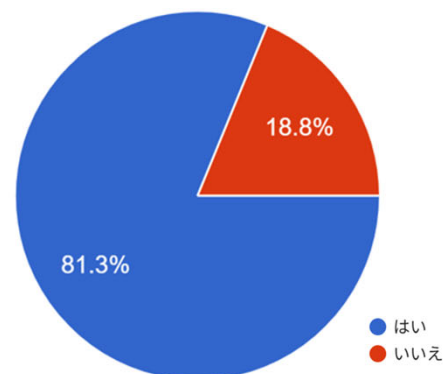
事前の準備や早めに避難
することの大切さがわかりましたか？



マイ・タイムライン作成の
方法がわかりましたか？



マイ・タイムラインを家族の人と
作ってみたいですか？



■ 生徒の感想 (一部抜粋)

- ・ 災害はいつ来るのかわからないから事前に準備しようと思った
- ・ マイ・タイムラインがあれば素早く避難できることがわかった
- ・ 自然災害は、いつ、どこで、何が起こるか分からないから、日ごろの準備が大切なことがよく分かった
- ・ 台風や大雨の避難や避難経路を確認しておきたいと思った
- ・ まだ防災リュックを準備していないから今後準備しようと思った
- ・ これから家族と防災について調べてみたい
- ・ マイ・タイムラインというのを知ってさらに避難所に行く前の準備が大切だなと思った

■ 先生の感想

子どもたちが自分事として考えるマイ・タイムラインの時間を多めにしてもらえるとうれしいです。